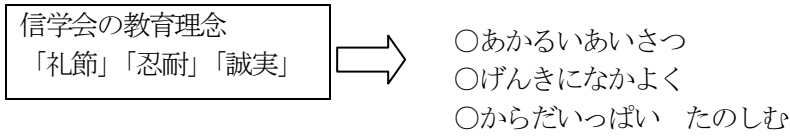
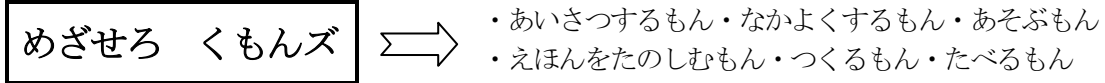


平成29年度 上田幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標



2. 本年度の重点目標 (キャッチフレーズ)



3. 評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修(資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会(モニター会)を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTAや学校関係者委員会(モニター会)等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

本年度の反省(モニター会でのまとめ)

- ・春の自由遊びの時期は、ケガが多い。保育者の立つ位置を明確にしてケガ防止に努めて欲しい。
- ・保育者と保護者の相互理解をより綿密にして欲しい。
- ・子ども一人1人に愛情を持って接してくれる保育者が多く安心できる。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・「行事設定」において、子どもたちに、どのような力が育つか明確に理解し実施する。
- ・共通理解をしっかりと行い、保育にあたる。徹底してケガ防止に努める。